



うさぎとかめの通信 上越市立高田幼稚園

(園長室だより) 107周年
令和5年11月4日 第188号

HPのQRコード



「思い→体験→表現」は、幼児、児童、生徒に一貫する遊び学びの基本!

☆小学校1年生を招待しました(架け橋交流その2)☆

年長のまつ組の子供たちは、10月の大手町小学校での架け橋交流の後、今度は大手町小学校の1年生を高田幼稚園に招待したいという気持ちを高めていました。

大手町小学校の子供たちが来てくれることが分かってからは、1年生にまた会えることをとても楽しみにしていたようです。ずっと作り続けてきた迷路を「分かりやすいように、楽しんでもらえるようにしたい」と、さらにバージョンアップを続けていました。

交流会の当日は、1年生の顔を見るなり、「あっ、あの子だ。久しぶり」というような様子で、1年生に雨具掛けの場所を教えるなど、小学校でしてもらったことを一生懸命に返そうとしていました。してもらって嬉しかったことを、今度は自分がするという思いやりがつながっているようでした。

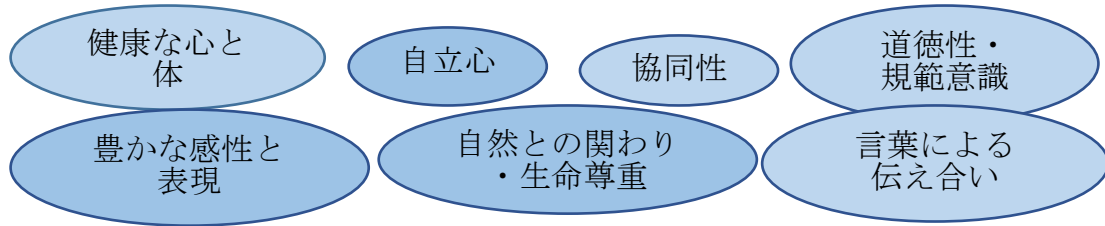
交流会では、まずは、年長のクラスで作ってきた巨大迷路を紹介しました。年長のまつ組1人に1年生2・3人くらいのチームになり、「ここは、〇〇君の行き止まりの部屋で、△△しているところだよ」などと、どの子も1年生に説明できました。

迷路体験が終わった後、1年生が感想を発表してくれました。1年生は、「□□のところがすごいね」「〇〇になっていて、楽しかった」などと、まつ組の子供たちが嬉しくなる感想を発表してくれました。家の人や教師という大人に褒められた時と少し違い、「憧れの1年生」「ちょっと年の近い1年生」から褒められた喜びは格別のようでした。言葉を聞いて心の中が温かくなるような、そして元気が出て、もっともっとやりたいというやる気を高めたように思います。

迷路体験後は園庭でリレーをしました。いつもより大人数で走れたことや、1年生のパワーある走りを見れたことで、リレーの楽しさを感じていたようです。最後に、園庭での自由遊びをしました。1年生と遊具だけでなく、園庭のどんぐりや葉、昆虫など自然との関わりを楽しみました。



【交流会で見られた姿・・・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿をもとに】



1年生との交流会を通して、今までの園生活では体験できない学びがありました。1年生に喜んでもらいたい、楽しんでもらいたいというまつ組の子供たちの思いがあるからこそ、どの活動も自分たちでやりたいという主体的に取り組む姿につながりました。

作品展にお出でいただきありがとうございました

今年度は、作品展を入場制限なしで行うことができました。

作品展は、子供たちにとって遊びの過程の発表会です。ローラーで段ボールを塗ったり、カエルのすむ場所作りを工夫したり、迷路の中に自分だけの秘密基地を作ってみたりなど、全てが楽しんで夢中になって遊んだ足跡です。だからこそ、お家の人に「これはね。・・・」と嬉しそうに自分の足跡を伝えることができます。そして、お家の人「うん、うん」「そうなんだね」「すごいね」などと、優しく聞いて褒めてくださっています。お家の人に褒めてもらい、子供たちは自己肯定感をうんと高めていました。ありがとうございました。



12月には、発表会があります。子供たちの遊びがどのように発展していくのか、とても楽しみです。ぜひ、発表会もお出でください。

♡ありがとうございました♡

○ 町内会長様 ありがとうございました

冷たい雨が降り、駐車場からの通路の場所に、湖のような水たまりができてしまいました。園庭の周りの側溝に落ち葉などがたまってしまい、排水がスムーズにいかないようでした。コンクリートの側溝蓋がとれず困っていたところ、町内会長様が、道具を持ってこられ、側溝の落ち葉等を取り除いてくださいました。お陰様で安全に子供たちが通ることができます。

○ 前園長先生 ありがとうございました

中嶋前園長先生から、クリスマスツリーのプレゼントがありました。園児みんなで、飾り付け、お披露目をしました。ぴかぴか光るツリーと共に子供たちの心もわくわくしています。ありがとうございました。